

誇りを胸に大人の一歩

～令和8年二十歳の集い～



1月4日、令和8年「二十歳の集い」が町文化ホールで113人を対象に開催され、晴れ着姿の96人が参加しました。式典では川添健町長が「笑顔とスピードで対応できる社会になることを心に刻み、世界に羽ばたく人材となるよう願っている。町には、皆さんのがいエネルギーや斬新なアイデアなどが必要。できれば帰ってきて、まちを盛り上げてほしい」と式辞を述べ、多くの人から祝福と激励の言葉が贈られました。

二十歳を代表して運営委員長の宮路隆太郎さん（天堂）が二十歳を迎える、「守られる側」から「支える側」になる。自分の役割を果たし責任ある行動で社会に貢献できる大人になりたい。自然に恵まれ人と人とのつながりを大切にする長島町で育ち多くのことを学んだ。その一つひとつが私たちを作っています。このふるさとで育った誇りを胸に、いつかこの町に恩返しができる存在になりたい」と力強く誓いの言葉を述べました。

式典終了後のお祝い行事では、和太鼓の演奏や各中学校の思い出のアルバムが上映され希望にあふれた二十歳の門出を祝いました。

